

AICHI JCP TIMES

暮らしと政治とあなたを結ぶ

Vol.10



共謀罪へ国際社会からの忠告

「加計」で談話
前川前次官

労働法令違反総件数
愛知県、全国2位

【加計学園？】



首相補佐官 総理は言えないから私が

「安倍晋三首相の友人が理事長の学校法人「加計（かけ）学園」（岡山市）をめぐる問題で、文科科学省の前川喜平・前事務次官は5月30日、談話を発表し、昨年9月に和泉洋人首相補佐官から「総理は自分の口からは言えないから、私が代わりに言う」と言われ、国家戦略特区による獣医学部設置の対応を早くするように求められたことを明らかにしました。和泉氏から前川氏に獣医学部設置を進めるよう要請があった事実、しんぶん赤旗も文科省関係者の証言をもとに報道しています。

談話によると、前川氏は昨年9月上旬に、和泉氏から官邸に呼ばれました。補佐官執務室で和泉氏は、「国家戦略特区における獣医学部設置の特例について、文科科学省の対応を早くしてほしい」と求めたとしています。その際、和泉氏から「総理は自分の口からは言えないから、私が代わりに言う」という趣旨の発言があったといいます。

前川氏は承ったとの旨を和泉氏に伝えたと、文科省の専門

「間違いない事実」 「加計」で談話 前川前次官



「安倍晋三首相の友人が理事長の学校法人「加計（かけ）学園」（岡山市）をめぐる問題で、文科科学省の前川喜平・前事務次官は5月30日、談話を発表し、昨年9月に和泉洋人首相補佐官から「総理は自分の口からは言えないから、私が代わりに言う」と言われ、国家戦略特区による獣医学部設置の対応を早くするように求められたことを明らかにしました。和泉氏から前川氏に獣医学部設置を進めるよう要請があった事実、しんぶん赤旗も文科省関係者の証言をもとに報道しています。

談話によると、前川氏は昨年9月上旬に、和泉氏から官邸に呼ばれました。補佐官執務室で和泉氏は、「国家戦略特区における獣医学部設置の特例について、文科科学省の対応を早くしてほしい」と求めたとしています。その際、和泉氏から「総理は自分の口からは言えないから、私が代わりに言う」という趣旨の発言があったといいます。

前川氏は承ったとの旨を和泉氏に伝えたと、文科省の専門

Aichi news

労働法令違反総件数 全国2位 愛知労働局に聞く

監督官
少なかった！



愛知労働局は16年に労基署が重大な法令違反の疑いがあるとして書類送検した事件は68件で、大阪について2番目に多い送検数となっていると発表しました。日本共産党の参議院愛知選挙区予定候補のすやま初美さんは、5月25日、愛知労働局から、法令違反で送検される企業の特徴や、実態について聞き取りを行いました。その中で送検には到らずとも、長時間労働や安全管理を怠る企業に対する行政指導件数が増えていることがわかりました。また労働基準監督官の数が、愛知県内の労働者およそ346万に対して100人前後となっていることもわかりました。労働監督官の増員を引き続き政府に対して、強く求めていくことを確認しました。

国際社会から厳しい忠告

「共謀罪」 プライバシー権や表現の自由への

過度の制限になると厳しい指摘

「共謀罪」法案を強行する政府与党に対して、国際社会からも厳しい忠告が寄せられています。

総理が法案が不可欠としてきたTOC条約締結について、条約の国連立法ガイドを起草したニコス・パッサス教授は「現在の法体系で対応できないものは見当たらない」とし、「条約を批准することは可能」「国内法の整備は日本国民の意向を反映させるべきだ」と忠告しています。

もう一つは、国連プライバシー権に関する特別報告者、ジョセフ・ケナタッチ教授が、政府に対し、TOC条約批准

という理由は「プライバシーの権利に対する十分な保護もないこの法案を成立することを何ら正当化するものではありません」と厳しく批判していることだ。政府が「国連の立場を反映するものではない」と反発するのは、独立した立場で人権理事会への報告を行う特別報告者の権限を理解しない、驚くべき姿です。外務大臣、特別報告者の任務と権限について、明確に説明頂きたい。

国連条約のために必要不可欠といえながら、国連特別報告者からプライバシー権や表現の自由への過度の制限にな



TOC条約を結ぶために、共謀罪が必要！



ニコス・パッサス教授：条約の国連立法ガイドを起草した

現在の法体系で条約を批准することはできる。



ジョセフ・ケナタッチ教授：国連プライバシー権に関する特別報告者

TOC条約の批准はプライバシー権の十分な保護がない共謀罪法案を正当化するものではない